

目次

番号	分野	タイトル	ページ
1	電池	「リチウムイオン電池コーディングルール」 GB/T 45565—2025	P4-P5
2		動力電池リユースに係る最新政策及び応用例	P6
3		BYDとByteDanceの提携	P7
4	マイクログリッド	常州最大の工場マイクログリッド(Li Auto常州生産基地)	P8
5	V2G技術	国内初！V2G規模化実測(「5G＋量子」バーチャルパワープラントによってスケジューリング)	P9
6	充電器	モバイル充電ロボット	P10
7		二輪車用無線充電器	P11
8	南方電網	南方電網:カーボン関連業務を全面的に展開する	P12

「リチウムイオン電池コーディングルール」 GB/T 45565—2025

●2025年6月3日の情報によると、リチウムイオン電池の全ライフサイクルの安全と品質管理を強化するため、「リチウムイオン電池コーディングルール」(GB/T 45565—2025)の公布が承認され、2025年11月1日より実施される。

この基準は、単体電池から電池システムまでの全階層製品をカバーする。各新生産電池製品に唯一の識別コードを与える。これによって、生産側から回収側までの全ライフサイクルプロセス管理を実現し、製品追跡と業界監督管理に重要な参考根拠を提供することができる。

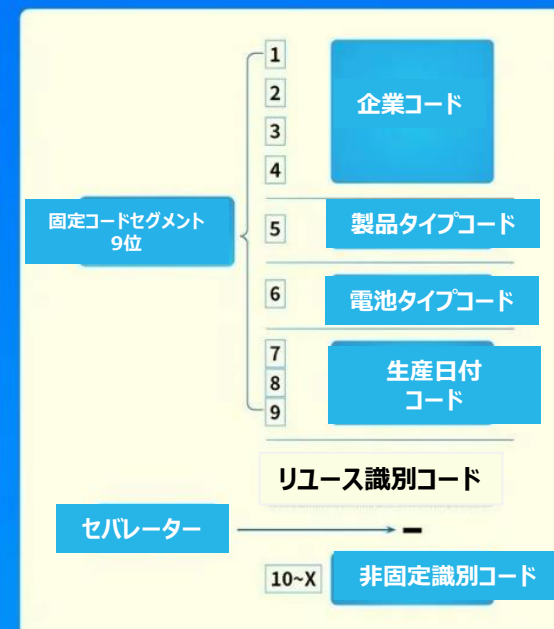
02 適用範囲



03 コーディング対象



04 コーディング構成



Part1 : 電池

出典: <https://mp.weixin.qq.com/s/1QgMBDru8ES2JS5uHyYv4g>

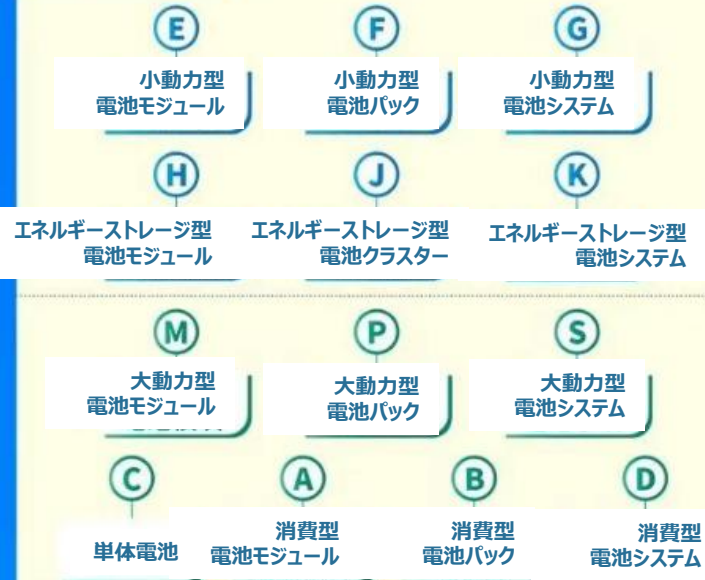
「リチウムイオン電池コーディングルール」 GB/T 45565—2025

05 | コーディングルール

企業コードの登録申請

🔍 www.ldchy.cn

製品タイプコード



電池タイプコード



06 | コーディング例

企業コード	製品タイプ	電池タイプ	生産日付	セパレータ	非固定識別コード
ABCD	E	A	F11	-	企業自社設定

例:F11は製品が2025年1月1日に生産されたことを示す

Part1：電池

出典: <https://news.bjx.com.cn/html/20250617/1446669.shtml>

動力電池リユースに関する最新政策及び応用例

政策:2025年5月8日、上海市発展改革委員会は、「条件を満足動力電池のリサイクルおよび廃旧動力電池の総合利用などのプロジェクトへの支援を強化し、新エネルギー自動車の廃旧動力電池蓄電池のリサイクルの規範化、産業化、規模化発展を導くと発表した。**リユースエネルギーストレージ製品の競争力を強化し、動力電池リユースの応用シーンを豊富にする。**」と発表しました。

上海市は「上海市循環経済発展と資源総合利用特別支援方法」を制定、公布した。電池のリユースと再生利用などの固定資産投資プロジェクトに対して、30%の補助金を与え、補助金の上限は2000万元である。

応用例:BMWは動力電池のリユース分野で規模化されたビジネスの新しいシーンを開拓した。2025年6月13日、上海、重慶などのBMW販売店は続々と退役動力電池を搭載した蓄電ステーションを使用始めた。



BYDとByteDanceの提携

● 2025年6月19日の情報によると、比亞迪リチウム電池はByteDance及びVolcano Engineと協力を深め、「AI+ハイスループット
連合実験室」を共同で建設することが明らかになった。

双方はアルゴリズム、計算力及び実験データの共有を通じて、動力電池の急速充電、寿命と安全などの重要な技術問題を共同で克服し、AI for Science研究のリチウム電池分野での着地を推進する。

このうち、ByteDanceのSeedチームは引き続きモデルアルゴリズムの研究に投入して、Volcano Engineクラウドインフラに頼ってモデル能力を最適化する。

一方、比亞迪リチウム電池はハイスループット実験プラットフォームを提供し、大規模、系統的、かつ高い一致性の実験データを保障し、モデルの最適化に高品質なデータサポートを提供する。

また、双方は膨大な実験と計算データを融合したバッテリー総合性能AIモデルを構築し、多次的にバッテリー更新サイクルを短縮し、新材料と新調和の発見を加速する。

ByteDanceの紹介によると、5分間充電して航続距離が400キロの「メガワット・フラッシュ充電電池」の背後で、比亞迪チームは研究開発初期からByteDanceのSeedチームが作った電解液AIモデルフレームワークBAMBOOを導入し、電解液処方の迅速なスクリーニングを支援した。



常州最大の工場マイクログリッド(Li Auto常州生産基地)

●2025年6月5日、Li AutoとCATLの子会社である時代綠色能源有限会社が手を携えて構築した「太陽光発電+エネルギーストレージ+知能スケジューリング」一体化マイクログリッド体系—— Li Auto常州知能製造基地の百メガワット分散型太陽光発電プロジェクトは正式にグリッドに接続した。プロジェクトは毎年1億度以上のグリーン電力を発生可能、二酸化炭素9万トン近くを削減可能と推計されている。当該プロジェクトは革新的に「屋根ソーラー」と「ソーラーカーポート」という二つの応用シーンを融合して、完全なクリーンエネルギー解決案を構築した。

当該プロジェクトの屋根ソーラーシステムは「PV+TPO屋根」一体化設計を採用して、工場の30%-40%の日勤消費電力需要を満たすと同時に、建築の省エネと電力ピーク調整の二重効果を実現した。



国内初！V2G規模化実測(「5G+量子」バーチャルパワープラントによってスケジューリング)

●5月30日、国内で初めて「5G+量子」VPPの正確なスケジューリングに基づくV2G規模化実測が合肥で行われ、全市6000台以上の新エネルギー車が秩序充電、逆放電、誘引充電などの形で今回の実測活動に参加し、インタラクティブ電気量は2.8万度に達した。今回の実測活動は合肥市政務センターの国家レベルV2G規模化応用試験プロジェクトを中心に、社会運営場、バス場、公共機関場、企業専用場4つのシーン、5つの重点モデルステーションをカバーした。

今回の放電は4時間近く続き、累計放電電気量は5000kW・hを超えた。活動に参加した新エネルギー車の所有者は1kW・h放電することに合肥市政府から2元の補助金を得ることができる。

注目すべきは、今回実測活動の成功には国内初の「5G+量子」バーチャルパワープラントの精確なスケジュールが欠かせないことである。このシステムは、分散型資源グリッドのデジタルスケジューリングプラットフォームを構築することで、自動車充電、バッテリースワップ式ステーション、蓄電発電所、分散型太陽光発電など様々な分散型エネルギー資源を統合し、柔軟なスケジューリングが可能な「クラウド発電所」を形成している。当日、合肥バーチャルパワープラントはグリッドの運行状態をリアルタイムで監視し、5G通信と量子暗号技術を通じて実測に参加するステーションに指令を出し、1分間以内に最大放電パワーが1900kWを超えた。



モバイル充電ロボット

● 現在、「阿O充電」モバイル充電ロボットは北京のオフィスビルやデパートで使用されて、充電価格は駐車場内の充電器と一致している。計画によると、今年は北京の150箇所に1000台を投入する。

「阿O」は充電機能を備える車輪式ロボットで、地下駐車場で最高5km/hの速度で運転でき、運転中に自主的に障害を避ける機能を備えている。車体は小さく、1メートル以上の高さしかないが、シャーシは動力が強く、20度以上の勾配を登ることができる。充電スピードから見ると、高速充電モードを採用し、15分間充電すると航続距離が150kmを増加する。

このロボットは、人工運転バージョンのほか、自動運転バージョンも開発された。自動運転バージョンのロボットはL4レベルの自動運転機能を備えており、レーザーレーダーなどのセンサーを搭載し、自分で駐車場に到着することができる。ロボットにロボットアームが装備されており、ロボットアームが充電などの一連の動作を行う。

同じ時間内に車20台が充電を発注した場合、ロボットは異なる車両の位置、バッテリー残量、注文時間、退場時間などの状況に基づいて分析を行い、スケジュールプロセスを全体的にスムーズにさせる。ロボットの蓄電池パックにも**圧力センサーが搭載され**、通常の車載バッテリーよりも早くバッテリーの温度、圧力変化を監視でき、安全性能が向上された。

充電サービスを完成するほか、車両の所有者の許可を得た上で、**車両のバッテリーの健康状態を検査し、評価することができる**。また、技術チームは業界内の大量の充電データを分析処理することで、このロボットに充電をより「理解」させ、異なる新エネルギー車電池の実情に応じてより細かくメンテナンスと処理を行う。



Part4：充電器

出典: https://mp.weixin.qq.com/s/w8bt7BIG0GH_tGGSEJW6aw

二輪車用無線充電器

●この二輪車用充電器は磁気共鳴技術を核心として、IoT、スマート情報ネットワークなどの先端技術を巧みに利用し、電動自転車のサイドスタンド或いはワイヤレス充電スタンドを充電媒体としている。ユーザーは電動自転車を指定の位置に駐車して、サイドスタンドをワイヤレス充電スタンドに接触させるだけで、自動的に充電が開始される。また、ユーザーは携帯電話APPでリアルタイムに充電状態、充電進捗を確認することができる。

露出したケーブルとプラグを必要とせず、充電器はIP68級防水基準を満足する。雨や雪が降る環境や、充電エリアに水がたまっている場合でも、安全で安定した運行が可能である。



南方電網:カーボン関連業務を全面的に展開する

●最近、南方電力は「会社がカーボン関連業務の発展を統括推進する事業案」、「会社のカーボン関連業務の発展を加速し、炭素排出デュアル抑制体系の融合とサービスを促進して3年間の行動計画を構築する（2025—2027年）」を相次いで公布し、会社のカーボン関連業務の発展に対して全面的なシステム配置を行った。

「方案」要求:2025年までに、系統的に会社のカーボン関連業務組織システムを構築し、ネットレベル「ダブルカーボン」サービス会社を設立し、社内カーボン市場の試運転を起動し、グリーンエネルギー国際組織の正式な運営を推進する。2027年までに、会社の電気炭素統一管理データベースと電気炭素足跡計算の背景データベースを建設し、基本的にグリーンサプライチェーン体系を建設し、南方地域統一「ダブルカーボン」サービスプラットフォームを建設し、地方政府と企業にカーボン計算、カーボン管理、カーボン減少能力を明らかに向上させる。2030年までに、会社はカーボンニュートラル目標管理体系をより成熟して定型化し、グリーンサプライチェーン体系を全面的に建設し、カーボン関連業務は会社の戦略的新興産業の重要なクラスターの一つになる。

2025年5月22日、広州市ダブルカーボンサービスセンター（緑電緑証サービスセンター）が正式に設立された。そして「穂炭雲」というプラットフォームを革新的に発表した。このというプラットフォームは電気、ガス、水、油などの全種類のエネルギーデータの統合を推進し、炭素排出量の正確なモニタリングを実現する。



ご清聴頂きまして有り難うございました!